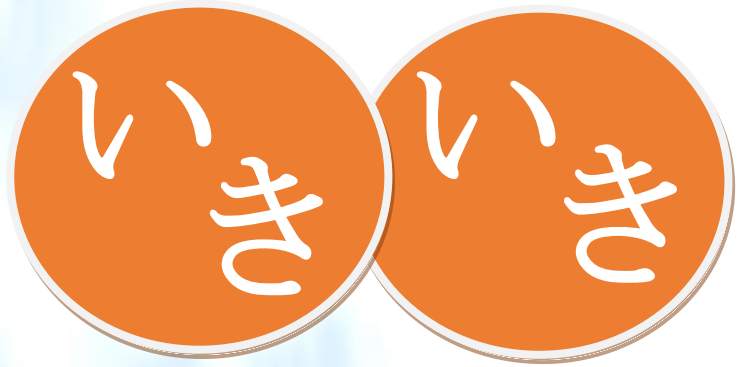


地域の支えあい活動や介護予防活動をご紹介します

見~つけた!

# 地域の活動



## Vol.29

2018年12月発行

### 集いの場で育まれる住民相互の支え合いの意識 角崎地区健康福祉委員会のモーニング交流会

今回の「地域のいきいき活動」は、角崎地区健康福祉委員会のモーニング交流会の様子をご紹介します。

朝8時、角崎地区の「こっこハウス」と呼ばれるビニールハウスの中から「おはよう!」「よう来てくれたね!」といった大きな声が聞こえました。このビニールハウスの中では、月2回、朝のウォーキングを終えた角崎地区の皆さんがモーニングを食べる交流会が行われており、運動を終えた皆さんの憩いの場として定着しています。この日も、焼き立てのトーストやこだわりのコーヒー、ゆで卵等が振る舞われ、96歳の男性を筆頭に毎回10名以上の住民の皆さんが集い、何気ない会話を楽しまれています。



角崎地区健康福祉委員会の皆さんと取材時に提供されたモーニング



このモーニングの活動前には、見守りも兼ねた声かけ活動を行っており、気軽に足を運んでもらうための努力も惜しみません。「寒くなつたね。」「今日も来てくれるかね。」「といった呼びかけが行われ、モーニングの活動により、ごく自然に支え合いの意識が形成されているようでした。

また、角崎地区健康福祉委員会では、こうした活動の他にも、「いつまでも健康で集いの場に集うことのできる身体づくり」をテーマに介護予防の活動にも力を入れているそうです。

代表者の方にお話しを伺ったところ、「健康福祉委員会の活動が地域住民の皆さんを繋ぐきっかけになって嬉しい。」と話され、地域住民の皆さんのふれあう姿、喜ぶ顔が活動のエネルギーになっているようです。

